

使用材料一覧

製品区分	品 名	入目・荷姿	適 用
プライマー	オープライマーバリア	15kgセット／缶 （主剤6kg／袋×2・硬化剤1.5kg／袋×2）	TFAK工法用2成分形エポキシ樹脂プライマー（水系）
	層間プライマー-E	14kg／缶	既存ウレタン、既存塩化ビニル樹脂シート下地、 及び塩化ビニル樹脂被覆鋼板用1成分形 ウレタン樹脂プライマー（弱溶剤系※1）
	オープライマー	16kg／缶	コンクリート、モルタル下地用 2成分形エポキシ樹脂プライマー（水系）
	DSプライマー・エコ	16kg／缶	コンクリート、モルタル下地用 1成分形ウレタン樹脂プライマー（弱溶剤系※1）
ウレタン防水材	タフレックス	18kg／缶	特定化学物質無配合特殊1成分形ウレタン塗膜防水材
	エバーコートZero-1H	18kg／缶	特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水材
	エバーコートZero-1H 立上り用	18kg／缶	特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水材
マット	タフマット	1.27m×105m／巻	タフレックス専用ガラスチョップドストランドマット
トップコート	SQトップ・ゼロ（高反射色）	15kg／セット	2成分形アクリルウレタン樹脂トップコート（弱溶剤系※1） 速乾タイプ
	ASTトップ・ゼロ（高反射色）	15kg／セット	2成分形アクリルシリコン樹脂トップコート（弱溶剤系※1）
	フッ素スーパートップ・ゼロ（高反射色）	10kg／セット	2成分形フッ素樹脂トップコート（弱溶剤系※1）
	オートップ・ワン（高反射色）	15kg／缶	1成分形アクリルウレタン樹脂トップコート（水系）
シート	自着シートMQC	1m×15m／巻	防水層品質管理システム対応 自着層付ポリエステル不織布系通気緩衝シート
	自着シートライトSP	1m×15m／巻	自着層付ポリエステル不織布系通気緩衝シート
	DF・BBシート	1m×20m／巻	両面自着層付ポリエステル不織布系通気緩衝シート
副資材	Zero-1専用促進剤C	3.3kg／ポリビン	Zero-1専用硬化促進剤※2
	Zero-1専用促進剤 速硬化タイプ	3.3kg／ポリビン	Zero-1専用硬化促進剤 速硬化タイプ※2
	ジョイントテープTM	100mm×50m／巻	通気緩衝シート用ジョイントテープ
	DFメッシュテープ	100mm×50m／巻	通気緩衝シート用端末補強テープ
	キレールテープ	55mm×30m／巻	パラベットアゴ部用粘着層付水切りテープ
	LF改修ドレンU タテ型・ヨコ型	2個／箱	非鉛製改修工事用ドレン
	LFドレンキャップ タテ型・ヨコ型	2個／箱	LF改修ドレンU用ストレーナキャップ
	ステンレスベントN	2個／箱	ステンレス製脱気装置 床面設置用
	ダブルテックスNEO	20kg／缶	防水下地調整用エポキシ系ポリマーセメント
	Dワン・カチオン	20kg／袋	防水下地調整用1材型カチオンフィラー

※1 弱溶剤系とは、トルエンやキシレンの他、有機溶剤中毒予防規則の対象物質を配合していないことを言います。
※2 Zero-1専用促進剤はエバーコートZero-1H用です。



免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。

2023年4月1日より シーカグループの株式会社ダイフレックスは
日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社**
としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト
<https://www.dyflex.co.jp/bousui/>
にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2024年 12月版
(’24.12月現在)’24.12. 500 SJ

特殊補強マット入り1成分形ウレタン塗膜防水

タフレックス
Fiber Reinforced Urethane Roofing System

タフレックス

Fiber Reinforced Urethane Roofing System

特殊1成分形ウレタン塗膜防水材「タフレックス」と特殊補強マット「タフマット」を組合わせた、新しい発想の防水工法です。

特殊1成分形ウレタン塗膜防水材

タフレックス



特殊補強マット

タフマット



ガラス繊維で補強された、未だかつてない
「強い」ウレタン防水層で
「接着断熱防水工法」と「露出防水改修工法」をラインアップ。

特 徴

特徴 1

タフマットの補強効果により、ウレタン単体では得られない剛性が有ります。
この強さをもって全面補強します。

ウレタンのみ

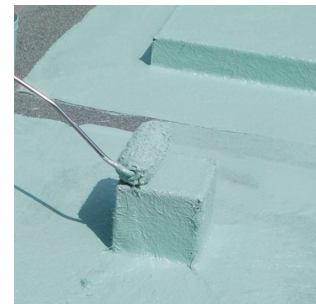
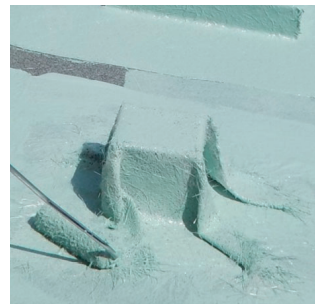
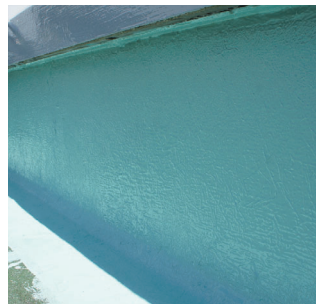


タフレックス + タフマット



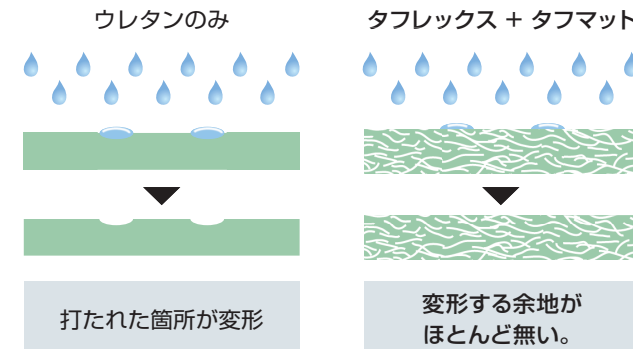
特徴 2

タフレックスとタフマットの組み合わせは複雑な形状にもよく馴染むため、立上り面や、基礎などの役物まわりでもスムーズに施工ができ、品質の高い防水層が形成できます。



特徴 3

突然の降雨でもタフマットの繊維があるため変形せずに、雨の影響を受けにくく安心です。
(タフマット層のみ)



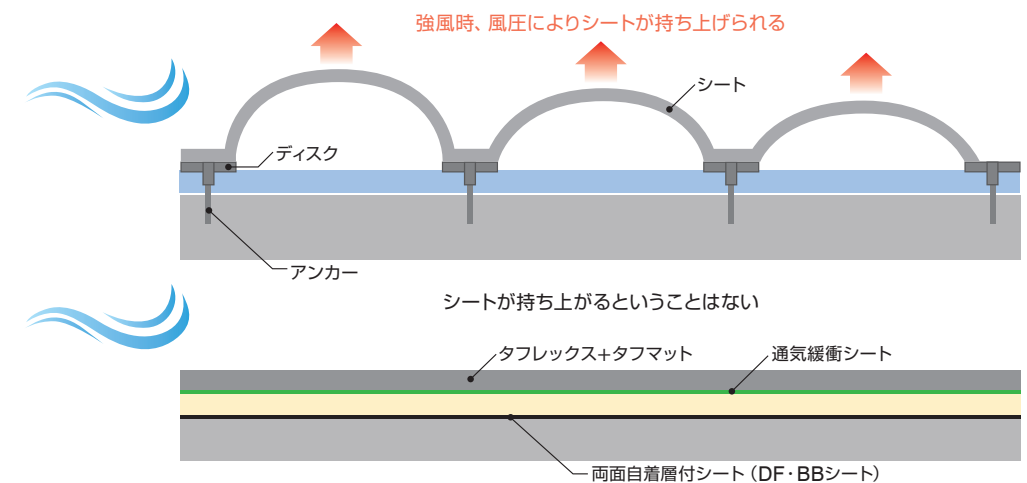
特徴 4

既存の露出防水にダイレクトで塗布する密着改修のため、下地どおりの凹凸に仕上がります。
また、タフマットの繊維の模様が表層に出るため、従来のウレタン防水と異なる印象となります。



特徴 5 接着断熱防水工法

接着断熱防水工法は接着で固定する接着工法のため、アンカーを使用した機械的固定工法のように強風時のシートのバタつきがありません。また、固定強度も機械的固定工法の約3.5倍を保持します。

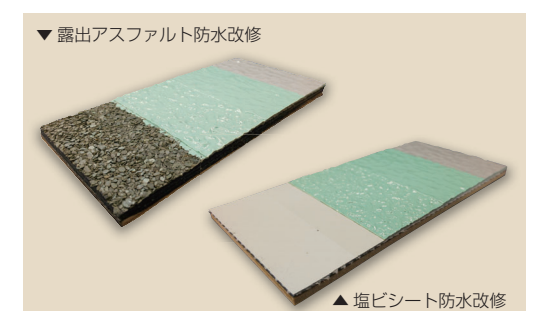
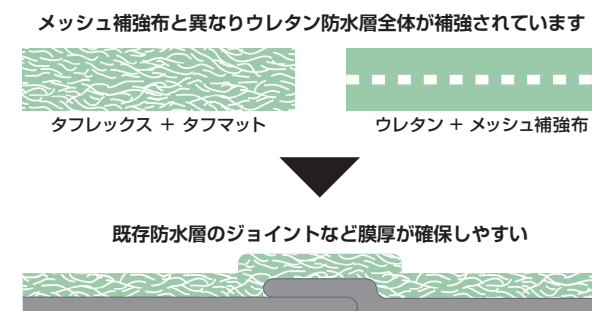


特徴 6 接着断熱防水工法

平場部は接着剤による固定を行いますので、ドリルで穿孔したりアンカーを打付けたりしません。したがって、工事に発生する振動音を大幅に軽減します。とくに改修工事では「居住者の在宅中」に施工する提案も可能です。

特徴 7 露出防水改修工法

タフマットにタフレックスを含浸させ層を形成することからメッシュ補強布よりも厚みが担保しやすくなります。従って平滑でない露出アスファルト防水や塩ビシート防水の改修でも、全面安定した厚みの防水層が確保できます。



タフレックス外断熱工法

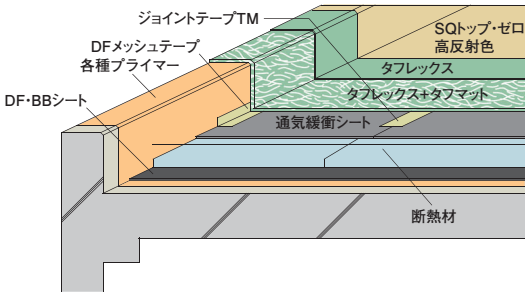
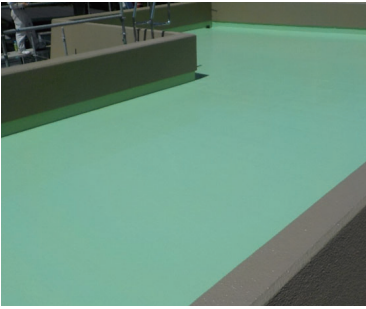
アンカーピンを用いない接着断熱防水工法！

環境負荷低減を目的とした外断熱工法が積極的に採用されるようになりましたがテレワークの浸透により、音のしない断熱改修が求められています。

断熱防水

両面自着層付シートを用いた固定方法

平滑な下地に対しては両面自着層付シートを用いて断熱材を固定。接着面積が多いため安定した接着力を確保することができます。また、接着剤の硬化時間を気にせず、すぐに次工程に移ることができます。
主にコンクリート下地やウレタン防水の改修に適しています。



平場仕様 TTF-200FD		
工程	使用材料	使用量 (/㎡)
1	各種プライマー	0.15kg〜※1
2	DF・BBシート	1.0m
3	断熱材	※2
4	通気緩衝シート	1.0m
	ジョイントテープTM	1.2m
5	DFメッシュテープ	0.3m
	エバーコートZero-1H 立上り	※3
6	タフレックス	0.8kg
7	タフマット	0.84m
8	タフレックス	0.8kg
9	タフレックス※4	1.0kg
10	SQトップ・ゼロ高反射色※5	0.2kg※6

立上り仕様 TFM-200LF		
工程	使用材料	使用量 (/㎡)
1	各種プライマー	0.15kg〜※1
2	タフレックス	0.8kg
	タフマット	0.84m
3	タフレックス	0.8kg
4	SQトップ・ゼロ高反射色※5	0.2kg※6

※1 新築下地で表面が緻密なコンクリート下地を想定し、プライマーの塗布量は0.15kg〜としています。吸い込み状況に応じて塗布量を増やします。
※2 断熱材の形状によって使用枚数が異なります。
※3 現場の状況によって異なります。
※4 エバーコートZero-1Hに変更することも可能です。
※5 他のトップコートを使用する場合は使用材料一覧より選択してください。
※6 オートトップ・ワン高反射色を使用する場合は0.3kg (0.15kg×2回塗り) です。

DF・BBシートによる断熱材の固定



通気緩衝シート張り

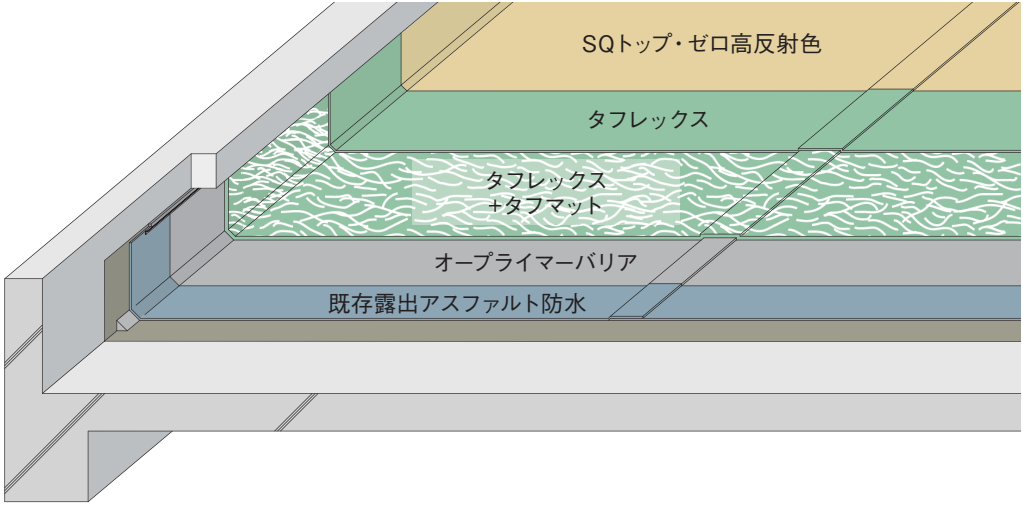


タフレックスとタフマットによる施工



タフレックス露出防水改修工法

砂付き露出アスファルト防水改修



平場・立上り共通仕様		TFAK-200
工程	使用材料	使用量/㎡
1	オープライマーバリア	0.3kg
2	タフレックス	0.8kg
	タフマット	0.84m
3	タフレックス	0.8kg
4	SQトップ・ゼロ高反射色※1	1.0kg
5		0.2kg※2

※1 他のトップコートを使用する場合は使用材料一覧より選択してください。
※2 オートトップ・ワン高反射色を使用する場合は0.3kg (0.15kg×2回塗り) です。

- 下地処理：
- 既存の砂付きアスファルトの立上り、入隅の浮き、たるみ、口開きがある場合は、炙り戻しもしくは、撤去する場合があります。
 - 現場の状況により、下地処理をする場合があります（例：浮き、膨れの場合は、炙り戻し。）
 - 砂取れや、アスファルトの露出が激しい場合は、ダブルテックスNEOによる下地調整を行ってください。

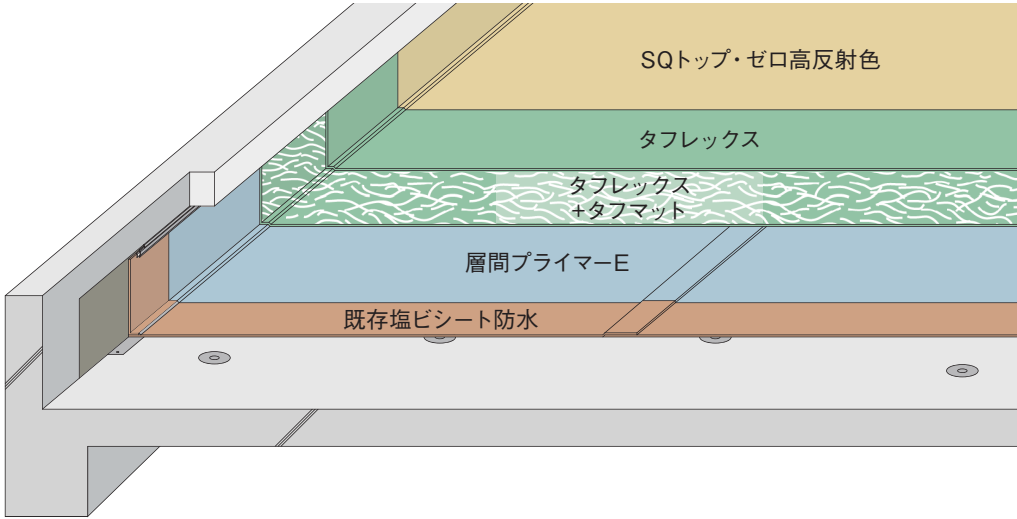
砂付き露出アスファルト防水改修例



砂付き露出アスファルト防水改修例



塩ビシート防水改修



平場・立上り共通仕様		TFEK-200
工程	使用材料	使用量/㎡
1	層間プライマーE	0.15kg
2	タフレックス	0.8kg
	タフマット	0.84m
	タフレックス	0.8kg
3	タフレックス※1	1.0kg
4	SQトップ・ゼロ高反射色※2	0.2kg※3

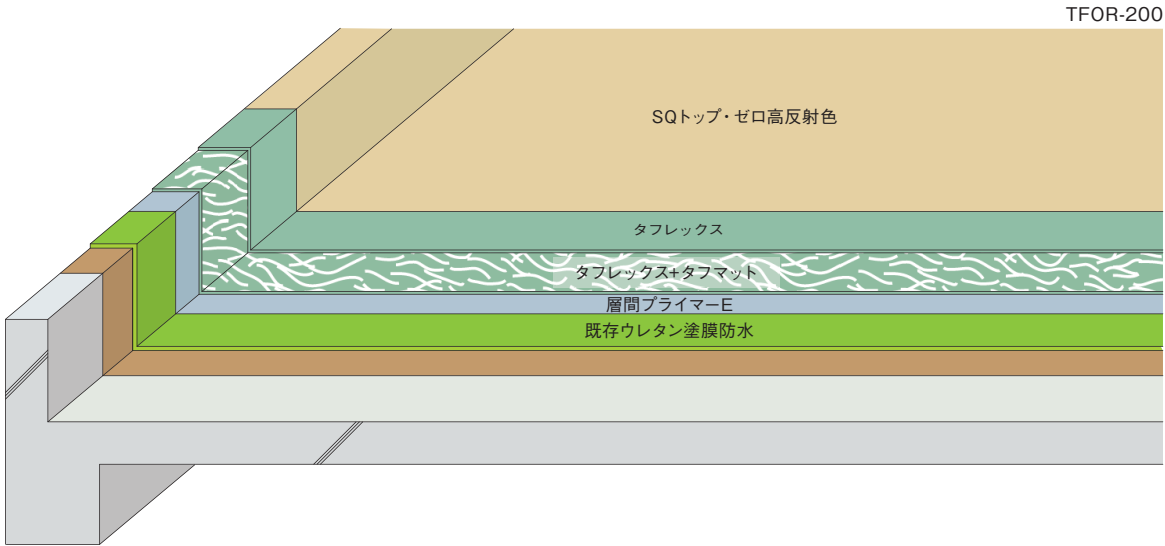
※1 エバーコートZero-1Hに変更することも可能です。
※2 他のトップコートを使用する場合は使用材料一覧より選択してください。
※3 オートトップ・ワン高反射色を使用する場合は0.3kg (0.15kg×2回塗り) です。

- 下地処理：
- 既存の塩ビシート防水の立上り、入隅部の浮き、平場の膨れがある場合撤去する場合があります。

塩ビシート防水改修例



ウレタン塗膜防水改修



平場・立上り共通仕様		TFOR-200
工程	使用材料	使用量/㎡
1	層間プライマーE	0.15kg
2	タフレックス	0.8kg
	タフマット	0.84m
	タフレックス	0.8kg
3	タフレックス※1	1.0kg
4	SQトップ・ゼロ高反射色※2	0.2kg※3

※1 エバーコートZero-1Hに変更することも可能です。
※2 他のトップコートを使用する場合は使用材料一覧より選択してください。
※3 オートトップ・ワン高反射色を使用する場合は0.3kg (0.15kg×2回塗り) です。

平場 X-2同等仕様		TFOR-300
工程	使用材料	使用量/㎡
1	層間プライマーE	0.15kg
2	タフレックス	0.8kg
	タフマット	0.84m
	タフレックス	0.8kg
3	タフレックス※1	1.0kg
4	エバーコートZero-1H	1.5kg
5	SQトップ・ゼロ高反射色※2	0.2kg※3

※1 エバーコートZero-1Hに変更することも可能です。
※2 他のトップコートを使用する場合は使用材料一覧より選択してください。
※3 オートトップ・ワン高反射色を使用する場合は0.3kg (0.15kg×2回塗り) です。

立上り仕様はTFOR-200工法を適用してください。

ウレタン塗膜防水改修例

